

細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・職員必携に理念・方針が明記されており職員全員に必携を配布している。又事務所玄関に掲示し内外に分かるようにしている。 ・法人のホームページ内、はなの木苑の箇所に掲示している。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・当年度事業報告や次年度事業計画に収支状況を掲載している。 ・毎月開催される経営会議にて、担当事務員より説明があり、把握・分析されている。 ・各部署より次年度の必要経費についてヒアリングを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・各部署会議にてリーダーから経営会議の内容を伝達している。 ・毎月開催される経営会議にて利用者状況の動向や施設の経営状況を分析し、具体的な経営課題を明確化して、改善に向けた取り組みをしている。 ・利用者数の確保対策として、入所利用者の健康管理に努め、長期入院などによる空床がないよう配慮し、関係機関と連携することで、地域のニーズを把握し、利用者契約やショートステイ等の利用につなげるようにしている。 ・自主事業を積極的に行うことによる収入の増加を図っている。		
改善できる点／改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・法人は令和4年から令和8年までの5年間について、現状と課題を分析し、安定的な経営に繋げるための「中期経営計画」を策定している。 ・中期計画では、具体的な取り組み事項として、①利用者目線の安全・安心な施設管理、②職員の育成確保、労働環境の改善、③多様化する利用者への適切な対応、④中期財務計画の4つの視点から現状と課題を検討し、将来へのビジョンを明確に定めている。		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・中・長期計画を踏まえて、各年度単位に位置づけ事業計画を策定している。事業計画は、施設の基本方針を示し、重点事項を定め、施設の現状と課題、改善に向けた実施計画を施設運営全般に亘って計画している。		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直し が組織的に行われ、職員が理解している。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・事業計画は各種委員会や職員会議等を通して、意見をくみ上げ策定している。年度当初に事業計画を全職員に配布して、職員会議等で説明し周知を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・㊤・c
良い点／工夫されている点： ・利用者への周知については、育成会（保護者会）、家族面会日、施設経営委員会等、機会を捉えて説明を行っている。また、自治会総会にて意見を述べる機会を設けている。		
改善できる点／改善方法： 施設の特長から、利用者に事業計画への理解を得るには困難な面もあるが、写真・イラストなど、わかりやすい資料を活用して、更なる周知を図られることが期待される。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
--	---------

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
良い点／工夫されている点： ・外部研修に参加した職員が復命研修として施設内で他職員に広くその研修内容を伝える事で施設全体での向上を図っている。 ・令和5年度より、外部講師を招いてケース検討会を年5回開催している。 ・定期的に岐阜県福祉サービス第三者評価を受審し、今年度で4回の受審となる。		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
良い点／工夫されている点： ・社会福祉法人岐阜県福祉事業団なんでも相談実施要綱に基づき、なんでも相談員が毎月1回相談日に、利用者等からの苦情や相談に対し適切な解決を図っている。 ・岐阜県福祉サービス第三者評価の受審結果から課題を分析し、改善策・改善計画を立案し、解決を図る組織体制を整備している。評価結果については、各会議等を通して、情報共有を図り、改善策を検討している。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： ・職員必携に事務分掌規程が掲載され、管理者の責任が明確に定められている。 ・自然災害時用と感染症対策用のBCPが作成され、管理者の責任が明確に定められている。		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： ・苑長は施設運営の研修会に参加し、遵守すべき法令の理解を深め、職員は外部研修や施設内研修を通じて、障がい者虐待の防止や権利擁護など法令理解の強化に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組	a・b・c

	に指導力を発揮している。	
良い点／工夫されている点： ・管理者が棟会議や支援計画会議に参加し、サービスの向上に指導力を発揮している。 ・虐待防止研修や強度行動障がい支援者養成研修等の研修が受講できるよう、勤務に配慮している。 ・システム管理委員会を毎月実施し、業務改善に取り組んでいる。また、法人内の経営課題検討チームに参加し情報共有を図り、経営に繋げている。職員の面談など実施し、意見を聞くとともに、研修等に積極的に参加させている。		
改善できる点／改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・定期的に職員面談をおこない、効率的な業務の推進、働しやすい環境の整備を図っている。 ・フリーペーパーに求人を載せ人材確保に務めている。 ・人材確保のため法人全体で職員募集を行っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・外部研修へ計画的に職員を参加させている。その後復命研修を行い、研修内容を周知している。 ・福祉資格の取得を奨励している。 ・新任者に1年間担当職員を付け、法人が行う新任研修と並行して、施設独自の新任研修を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・毎年人事考課を行い、昇給基準が明確になっている。 ・毎年職員調べを行い、次年度へのビジョンが想像しやすくなっている。 ・規程集に各自がアクセスできる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点：		

・会議や日常も含めセルフチェックなどでも、細やかに困り事や意向を聞き入れている。 ・勤務希望をもとに勤務表を作成している。 ・支援員（パート職員）は月の日数や1日の勤務時間を考慮している。 ・年次休暇や育児休暇、病気休暇等が取得しやすい環境にある。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・施設の主目標、重点事業に沿った個人目標設定報告書により、施設の目標を再確認するとともに、それに従って職員各自が目標設定をしている。目標設定報告書をもとに、上司とフィードバック面接を行い人材育成に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・施設内の研修係を中心として、支援の基礎や個別支援計画の作成方法などの研修を実施し、参加を呼び掛けている。また、外部の研修に参加した職員より復命してもらうことで知識の共有ができるようにしている。 ・Zoom 利用の研修、視聴型研修も適時取り入れている。		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・法人内に介護研修センターや、障がい者地域支援センターがあり、分野に応じた研修を受けることができる。 ・外部研修は、参加件数に偏りがないよう上席が管理し、均等に参加できるようにしている。 ・新任職員個々に、OJT を活用し、経験やスキルを伝えるようにしている。毎月、新任職員研修も行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・事業所の基本方針の中でも福祉専門職の育成を明記しており、実習生を積極的に受け入れる体制を取っている。 ・実習生に対してはマニュアルを整備しており、専門資格取得のための指導者を配置		

している。 ・実習担当者と養成校の担当者が連携しながら、プログラム作成から実習が終了するまで手厚い指導が行われている。
改善できる点／改善方法：

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。
良い点／工夫されている点： ・岐阜県福祉事業団のホームページから、各施設の理念や基本方針、財務状況などが記載してある。 ・第三者評価の受審結果を会議で検討し、改善に努めている。 ・障害福祉サービス等情報公開システムに施設情報を公開している。	
改善できる点／改善方法：	
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。
良い点／工夫されている点： ・年度始めに事業計画資料が職員に配布され、適正な経営、運営が行えるようになっている。デスク内ネット内の文書管理からも見ることができる。 ・毎年、事業団内部監査を受け、結果を改善できるよう努めている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。
良い点／工夫されている点： ・東濃圏域における知的障がい者(児)を主とした支援の拠点施設として、地域福祉に貢献できるようにしている。 ・東濃圏域発達支援センターとして、施設内で定期的にカフェを開催し、地域の障がい者が、心のよりどころになれるようにしている。 ・入所者は、定期的に外出支援を行い、地域との繋がりを持てるようにしている。	
改善できる点／改善方法：	
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。
良い点／工夫されている点：	

・ボランティアの受付係があり、受付や日程調整などを行っている。 ・有料ボラの理髪に関しては、日程の調整後、利用者が理髪を受けることができるよう金銭の準備を行っている。 ・特別支援学校生徒への職場実習（体験学習）を実施している。 ・介護福祉士、栄養士の実習受け入れ先として登録している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・病院、市役所など関係機関とは、密に連絡を取り、支援が円滑に行くよう調整している。 ・関係機関との情報は、棟会議などで職員に周知するようにしている。 ・地域生活支援センターまいかが令和6年度より施設内に移転したため、より職員間で情報が取りやすくなっている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・近隣の特別支援学校で開催される福祉事業所説明会に参加し、地域ニーズの把握に努めている。 ・地域生活支援センターまいか職員が、各施設や協議会、自治体などからの相談案件について、施設で対応可能かどうか協議している。		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・災害時一時避難所となっている。 ・地域生活支援センターまいか職員や施設職員が研修などの講師やファシリテーターとして派遣されている。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービスについて共通の理解をもつための取組を行っている。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点：		

・理念、基本方針、重点目標があり、職員の共通理解と出来るよう、毎年配布される職員必携に綴じている。 ・会議で職員の基本姿勢の読み合わせを行っている。 ・毎月虐待防止委員会、身体拘束廃委員会が開催されている。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	①・b・c
良い点／工夫されている点： ・利用者居室は、完全個室で対応している。 ・着替えや、失禁の処理などもプライバシーに配慮し、居室やトイレで行うようにしている。 ・プライバシーへの意識付けをするため、定期的に研修を行っている。 ・全職員対象に、基本方針、倫理要綱、サービス管理規定、個人情報に対する基本方針、人権侵害ゼロへの宣言書等を必携として配布している。 ・セルフチェック項目には、利用者に対するプライバシーの侵害の項目が設定されており、各自で毎月自身の振り返りを行っている。 ・家族には、家族会において利用者のプライバシー保護などの権利擁護について説明をしている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	①・b・c
良い点／工夫されている点： ・リーフレットに、写真や必要な情報を載せ、サービスを選択しやすいように工夫している。 ・利用希望者や見学者には、個別に担当者を付け、丁寧な説明を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	①・b・c
良い点／工夫されている点： ・利用開始時には、施設内の見学をしてもらい、利用者、家族へ説明を行っている。 ・利用契約時に、利用者、家族に契約書の内容を丁寧に説明し、納得された上でサインを受けている。 ・意思決定が困難な利用者に対しては、スケジュールや絵カードを使用して説明を行っている。 ・重要事項説明書等契約書にはルビが振ってある。 ・サービス利用開始にあたり、必要な内容等については重要事項説明書に記載及び説明を行っている。 ・重要事項説明書の内容に変更があった場合は、紙面及び口頭にて説明を行い、変更内容について同意書をもらっている。		
改善できる点／改善方法：		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： - 施設移行等は、サービスを継続して使用できるよう市町村と連携している。 - 利用者の状態に合った施設を検討し、家族には理解、納得されるまで説明を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： - 毎年、満足度調査を、利用者、家族に実施し、調査結果を分析し、改善に努めている。また調査結果対応等については、家族に報告を行っている。 - なんでも相談を行い、毎月の施設内巡回及び、個別での相談を実施している。また自治会総会時や、食事サービス会議等を通して、要望や意見を汲みあげられるよう努めている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： - 苦情解決の仕組みが整備されており、写真を使用して図解され掲示されている。 - CS 調査にて記入して頂ける項目も設置し意見の集約を行っている。 - 意見箱が設置されており、いつでも誰でも利用できるようになっている。 - なんでも相談が毎月開催されている。		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： - 個別に相談を受けたり、個別支援会議などの場で意見を聞いたりする機会が設けられている。 - 自治会総会等の場で、利用者が自由に発言できる機会がある。 - 施設経営委員会に利用者代表が参加している。		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： - 意見箱を活用しての意見の収集や意見を元にした対応なども都度、検討している。 - 食事メニューの検討や食べたいおやつ等、検討する機会が設けられている。 - 支援マニュアルや支援計画について、定期的に見直しを行っている。		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・リスクマネジメント体制が整っており、事故防止や安全確保に繋がるように委員会が積極的に動いている。 ・見守りカメラの映像を利用して事故の防止に繋がるように職員間で情報を共有している。		
改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・コロナ禍を経て感染症対策に対する意識が強くなり、感染症対応の為の物品の常設部屋の配置など、発生時にスムーズに物品移動を行えるようになっている。 ・感染症対応のBCPが策定されている。		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・過去の大雨時の映像や画像が残されており、視覚的にも職員がイメージしやすい情報が残されている。 ・防災係を中心に訓練や物品の確認を積極的に行っている。 ・自然災害対応のBCPが策定されている。 ・備蓄リスト作成し、備品管理を行い、食品管理については、栄養士が行っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・マニュアルを随時確認できるようになっており、手順書もワーカー室で確認できるように整備されている。 ・毎月の棟会議で見直しを行う機会を設けている。		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組み	㊦・b・c

	が確立している。	
良い点／工夫されている点： ・毎月の経営会議でサービス提供の適合性について協議している。またサービス提供管理要綱に定める事項が適合しているか否かを確認するため、監査チームを結成し内部監査を実施している。 ・利用者の混乱を避けることと、職員によってサービスの格差が生じないように、サービス管理責任者がサービス計画書等によりサービス内容の情報を管理している。 ・各種マニュアルの類の整備等、システム委員会を設置し、主に定期的に見直しを実施している。また各部署での会議でも、定期的な見直しを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・個別支援検討会議にて利用者参加の会議を開催し意見やニーズを本人から聴取している。 ・サービス管理者を中心に、担当職員や棟職員、栄養士や看護師等が参加してモニタリングや個別支援検討会議を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・利用者の集団をA～Dグループに分けて評価見直しを行い、細かく対象者を見ることが出来ている。 ・通りの会議で対象者をアセスメントすることで普段、対象者に寄り添う時間の長い職員が本人の強みなどを検討することが出来ている。 ・利用者が入院した場合、サービス管理者や看護師等が中心となって、個別支援計画を策定している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・共通認識できる符号で記録を分かりやすくしている。その記号をもとに検索をかけることによって、必要な記録をすぐに呼び出せるようにしている。 ・周知文など見やすく提示されている。 ・引き継ぎノートを活用している。		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	㊐・b・c
良い点／工夫されている点： ・規程に沿って記録の保管など行われている。 ・毎年、研修などで個人情報の取扱いなどを確認する機会が設けられている。		

・重要事項説明書に個人情報についての取り決めが明記されており、契約時に説明を行っている。
--

改善できる点／改善方法：

評価細目の第三者評価結果
(障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・モニタリングの際に、利用者本人が参加し、サービス管理責任者、担当者、棟職員等も参加しモニタリング会議を開催している。 ・利用者自治会会議や食事サービス会議等で意見を述べる機会を設けている。 ・相談箱が施設内に4か所ある。	
改善できる点／改善方法：	

A-1-(2) 権利侵害の防止等

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・マニュアルが整備されており、周知されている。 ・緊急やむを得ない身体拘束などについて「通り会議」で改善に向けての話し合いを積極的に行っている。 ・毎月、虐待防止委員会、身体拘束廃止委員会を開催している。	
改善できる点／改善方法：	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・一人ひとりの自立度に配慮した個別支援を行っている。 ・髭剃りや歯磨きなど自身でできることは自身で行ってもらい、苦手な部分を支援することが出来る。	
改善できる点／改善方法：	
A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・利用者の状況に合わせて様々なコミュニケーションの方法を取っている。 ・スケジュールボードを利用したり、写真や絵などといった視覚的な支援を取り入れている。	
改善できる点／改善方法：	
A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	㊦・b・c

良い点／工夫されている点： ・担当職員を中心に個別の聞き取りを行っている。意思表出の難しい方に対しては複数の職員で意見を出しあい検討することが出来ている。	
改善できる点／改善方法：	
A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・ウォーキング、動画鑑賞、ラジオ体操等、本人の特性や能力、状態に合わせて日中の活動を提供している。 ・定期的に園芸クラブや造形クラブなどを開催し、余暇の充実を図っている。 ・個別支援計画の見直しは6か月毎に行っており、その都度必要に応じて日中の活動内容も検討している。	
改善できる点／改善方法：	
A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・毎月1回以上の苑内研修を実施しており、職員の質の向上を図っている。 ・月に1回法人内の他施設での研修に参加し、知識の習得を目指している。 ・利用者個人の行動については記録に残し、統一した対応が必要なことについては別途周知文を作成し、共有している。 ・利用者間のトラブルなどは適宜介入して対応している。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(2) 日常的な生活支援

	第三者評価結果
A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・月に1回、利用者の希望を聞く機会を設けている。またメニューを選択できる機会を設けている。 ・本人の咀嚼や嚥下の状態を栄養士や看護師と確認しながら必要に応じて食形態を個別に変更している。 ・利用者個人の能力をふまえて入浴方法の変更や紙パンツ（紙オムツ）の使用、移動に関する補助具（車いすや歩行器など）の使用などを取り入れている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(3) 生活環境

	第三者評価結果
A⑨ A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・全室個室で、プライバシーは守られている。冷暖房は一括で入り切りできるが、居室単位でも操作することができる。 ・本人が鍵を使用できる方に対しては居室の鍵を渡し、安心して過ごせるように配慮している。 ・本人が居室で楽しく過ごす事が出来るようなもの(本、DVD等)を本人の希望を聞きながら購入している。 ・居室や共有部分(廊下やトイレ)の掃除を毎日行っており、清潔に努めている。 ・居室や共有部分のエアコンを活用し、快適に過ごせるように配慮している。	

改善できる点／改善方法：

A-2-（４） 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
A⑩ A-2-（４）-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・歩行不安定な利用者を対象にリハビリとして歩行訓練や立ち上がりの訓練を実施している。実施内容については法人内の作業療法士やかかりつけ医と適宜相談して決定している。 ・本人の能力に応じて課題を把握し、居室内の清掃や入浴時の着替えなどを個別支援計画の目標に設定し、取り組んでいる。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（５） 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
A⑪ A-2-（５）-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・入浴の際には身体状況の変化(怪我の有無や水虫やアトピーの状態確認等)を行っている。 ・排便があった際には記録に残し、情報を共有している。 ・本人の体調に変化があった際には通院したり、かかりつけ医に相談するなどの対応をしている。 ・日々の体調変化を早期発見できるよう、午前午後の検温、利用者の状況に合わせ体重測定や血圧測定を毎日行っている。 ・月に一度、内科検診、精神科検診、嘱託医による巡回を実施している。 ・夜間等、緊急時のマニュアルに従い、看護師が24時間連絡できるようになっている。 ・普通救命講習を毎年受け、AEDの使用法や心臓マッサージなどについて学び、緊急時に備えている。	
改善できる点／改善方法：	
A⑫ A-2-（５）-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・服薬に関しては施設でのマニュアルが定められており、それに従って支援が実施されている。 ・現在男子棟では、人工肛門増設に伴うパウチの交換やバルーンカテーテル使用者の採尿を行っている。主に看護師が通院し、医師からの指示を受け、その指示にしたがって支援を行っている状況である。 ・毎朝引継ぎに、苑長以下、各部署の支援者、看護師、栄養士等が参加し情報の共有を図っている。 ・服薬は、必ず2名の支援者で、服薬前に2回、服薬時に1回、服薬後に1回の4回確認を行っている。 ・医療的ケアを必要とする利用者はいないが、喀痰吸引の資格保有職員がおり対応は可能である。 ・内科検診、精神科検診時の医師の指示に従い、看護師の指導を受け支援している。 ・産業医による研修や、感染症に対する研修を実施している。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（６） 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2-（６）-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	㊦・b・c

良い点／工夫されている点： ・利用者の外出については苑全体・通り・個別などに分けて実施しており、ドライブや外食、買い物などの機会を提供している。 ・家族等との面会や外出・外泊は家族等の希望に沿って実施している。また、本人からの希望があれば保護者に架電するなどの機会を適宜設けている。 ・日中活動で作成した創作物などをイベントに出展するなどの取り組みをしている。
改善できる点／改善方法：

A-2-（7） 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭ A-2-（7）-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・年に2回、個別支援計画の見直しを行っており、本人の希望を確認しながら支援に繋げている。支援内容で急激な変化があれば、都度見直しを行っている。 ・モニタリング会議には相談支援専門員も参加しており、必要に応じて地域の資源についての助言を受けている。 ・モニタリング会議には利用者も参加し、要望意見を聞いている。モニタリング会議に参加できない方には、事前に担当職員が要望を聞いている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（8） 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮ A-2-（8）-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・毎月面会日を設けており、来苑された保護者には近況を報告したり、相談をする機会としている。 ・普段来苑が難しい保護者については年2回のモニタリングの際にニーズの聞き取りと共に近況を伝えるようにしている。 ・体調不良時などは主にリーダーを通して家族に報告をしている。 ・利用者の写真を年2回ご家族等に郵送している。	
改善できる点／改善方法：	

A-3 発達支援

A-3-（1） 発達支援

	第三者評価結果
A⑯ A-3-（1）-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 非該当とする	
改善できる点／改善方法：	

A-4 就労支援

A-4-（1） 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-（1）-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	㊦・b・c

良い点／工夫されている点： ・一般就労に結び付いた事例はないが、利用者から就職について希望があった際には一般就労に限らず、就労継続支援事業所なども選択肢に入れながら検討してく。	
改善できる点／改善方法：	
A⑱ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・現在は工賃作業を行っていない。 ・余暇的な活動とし園芸などを行っているが、本人の出来ることを中心に取組んでいただいている。	
改善できる点／改善方法：	
A⑲ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・個別支援計画の見直しのタイミングなどでご本人からの意向を確認し、希望があれば相談支援専門員などと協力して開拓や活動を支援していく。 ・一般就労が難しい場合は就労継続支援事業所などへのステップアップを目指せるように地域の事業所との連携を図っている。	
評価外 改善できる点／改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-(1) 職員の援助技術の向上

		第三者評価結果
A⑳ A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。		㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・各階層ごとに法人が実施する研修があり、適宜参加出来るようになっている。 ・上記の研修以外にも社協の階層別研修やテーマ別研修に参加し、虐待防止や接遇などさまざまなスキルを学ぶ機会が設けられている。 ・新規採用や転任の職員にはチューターがついて指導するなどの仕組みがある。		
改善できる点／改善方法：		

A-5-(2) IT技術や知識の修得

		第三者評価結果
A㉑ A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。		㊦・b・c
良い点／工夫されている点： ・施設入所を利用している方についてはパソコンなどの使用について理解が難しい状況である。 ・タブレットを使用して動画を見る際に自分で選ぶなど、可能な範囲でインターネットなどに関わり経験する機会を提供している。		
改善できる点／改善方法：		